

令和5年度 消防本部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策（消防本部関係分）

政策 04 安全・安心	政策展開の方向性							
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。							
	令和5年度の実績状況報告							
	04-03 消防・救急の充実							
	<ul style="list-style-type: none"> ・消防組織体制の充実では、消防職員人材育成基本計画に基づき、消防活動に必要な大型自動車免許の取得や救急隊員資格者などの計画的な養成を実施しました。また、災害対応力向上のため、消防教育機関への研修派遣や消防部内における教育により、指導的立場となる職員の養成や若手職員の育成に努めました。 ・消防団を中核とした地域防災力の向上では、消防団と自治会、自主防災組織等との連携強化や消防団の自主運営の推進及び若年層の消防団への入団促進として、SNSを活用したPRに取り組めました。 ・消防施設等の整備では、消防指令業務共同運用の実施に向け機器の整備を進めたほか、調整・協議を継続し、大規模災害等の対応力の強化に向けて整理を進めました。また、消防庁舎の長期保全に向けた改修計画に基づく改修及び消防車両・安全装備品の更新整備を行い、安定的な維持管理に取り組めました。 ・救急体制の充実では、救急需要の分析と調査を継続し、救急件数の増加及び救急活動時間の延長に対応するため、救急医療支援システムの実証実験や日勤者による特設救急隊の運用により救急活動時間の短縮を図りました。また、若年層を対象とした救命講習を行うなど応急手当の普及啓発を図るとともに、民間企業と連携し、救急車の適正利用の広報活動を行いました。 ・火災予防対策の推進では、春・秋・歳末の火災予防運動等に加え、火災調査結果を活用した予防広報を展開しました。また、火災による被害を軽減するため、住宅用火災警報器の適正な設置を含めた「住宅用火災警報器」の普及促進に努めました。特に高齢者を火災から守るため、民間防火組織の育成強化及び自治会等との連携を図りました。事業所等に対しては、防火管理・保安管理体制の強化を推進しました。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策では、消防・救急活動において必要な感染防止対策を徹底しました。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	R3年度	R4年度	R5年度	目標
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合		%	78.2	81.0	83.9	85.2	↗
	災害対策が充実し安心と思う市民割合		%	52.1	52.1	51.6	55.8	↗
	消防・救急活動に満足している市民割合		%	89.5	93.0	93.1	94.7	↗
	消防本部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「江別市消防10か年アクションプラン」 応急手当指導員 (一般救急隊員+救急救命士)		人	81	98	94	97	↗	
「江別市消防10か年アクションプラン」 防火・保安研修会等参加者の市民割合		%	23.4	28.2	38.1	42.4	↗	

2. えべつ未来戦略（消防本部関係分）

戦略	■戦略プロジェクト 「関連事業」（担当課）
戦略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦略 2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり	
戦略 3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり	

3. 消防本部の資源

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	243,955	289,610	315,339	310,664	358,195
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	243,955	289,610	315,339	310,664	358,195
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	130.20	131.20	129.00	129.00	130.00
	平均単価 (b)	7,687	7,629	7,607	7,604	7,433
	人件費 (a×b)	1,000,847	1,000,925	981,307	980,916	966,290
総額		1,244,802	1,290,535	1,296,646	1,291,580	1,324,485